

令和2年度

第2回公民館運営審議会議事録

令和2年7月10日開催

令和2年7月29日承認

浦安市高洲公民館

令和2年度 第2回 公民館運営審議会会議録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和2年7月10日（金）午後2時～4時
- 2 開催場所 中央公民館 大集会室
- 3 出席者
（委員）
越村委員長、廣瀬委員、永井委員、大川委員、田中委員、軽部委員、柗委員、
杉田委員、西村委員、松浦委員、林委員
（事務局）
教育長、生涯学習部部長、生涯学習部次長、高洲公民館長、中央公民館長、
堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、
- 4 傍聴者 1名
- 5 会議次第
 - I 開会
 1. 委嘱状交付（廣瀬委員及び柗委員）
 2. 委員長挨拶
 3. 教育委員会挨拶
 - II 協議
 1. 報告事項
 - （1）公民館業務報告（6月までの状況報告）
 - （2）令和2年度浦安市公民館業務について
 2. 審議事項
 - （1）公民館基本方針（案）について
 - III その他
 - （1）研修
 - （2）次回会議の予定

6 協議概要及び会議経過

1. 報告事項

(1) 公民館業務報告（6月までの状況報告）

新型コロナウイルス感染防止に対する公民館の取組み等について、高洲公民館長より報告を行った。

(委員) 9月末まで主催事業を中止すると聞いているがどうということか。

(事務局) ルネサンスに掲載する主催事業は10月からを予定しているが、できるものから始めて行く。

(委員) 現在、部屋の貸し出しに制限があるが、今後の見通しについて聞きたい。

(事務局) 現在、定員の半分、また、大きい部屋は1/4としているが、当分続くものと考えている。調理実習室については、開放を考えていたが、感染者が増えている状態で見通しがつかないためいつからかは明言できない。

(委員) 調理実習室を少人数で使う分には、他の部屋の活動より「密」ではないように思われるので、ご検討をお願いしたい。

(委員) 自治会集会所では、市役所より責任者の情報をキープし、もしクラスターが発生した時など提出するように指示されているが、公民館ではどうなのか。

入口で入館票に氏名、電話番号、利用場所を記入していただき、発熱の有無・体調をチェックしていただいている。

(委員長) 個人情報収集するので、管理を徹底していただきたい。

(2) 令和2年度浦安市公民館業務について

10月以降の主催事業や文化祭をはじめとする今後の公民館業務について、高洲公民館長より報告を行った。

(委員) 対面での講座とオンラインでの講座が両立すると思う。オンラインでの講座は、おたっしや体操だけなのか。ほかにも検討しているとしたらどのようなものがあるか。また、配信のみでなく相互交流の図れるような講座があると引きこもり傾向のある方も参加が期待できると思う。青少年が興味を持ちそうな斬新なスタイルやジャンルに期待できるか。オンラインに詳しい積極的なスタッフが公民館にいるかも気がかりで、内部研修に期待したい。

(事務局) 現状は、おたっしや体操だけである。今後は、映像の配信を視野に入れた事業も企画していきたいと考えているが、技術的な兼ね合いや事業の内容により配信の向き、不向きなどを視野に入れながら検討していきたい。

また、リモートでの事業もあると思うが、双方のネット環境なども考慮しできるものからやっていきたいと思う。スタッフについては、継続的な必要もあることから、研修や専門家の助言もいただきながらやっていきたい。

(委員) 今回、詳しいお母さんたちもいることが分かったので、協働事業としてもできるのではないかと。

- (委員) 文化祭では人数制限などで調整できるが、合同発表会では「密」にならないのか。課題がクリアできるのであればオンラインは一つの手かと思う。特に、YouTubeだけでなく、双方向で受講者と繋がれるのであれば、質問もその場でできるし、定員も多くできるので、講義形式の講座は向いている。
- (事務局) 合同発表会については、全公民館が対象となるため団体数が多くなり、時間配分や3密を避ける体制などクリアすべき課題が多々あるので今後検討させていただく。
- オンラインであれば、もう一度見たい、聞き逃した点などにも活用できるため、受け手のことを考えながら作っていかれたらと思っている。
- (部長) オンラインについては、市役所のネットセキュリティが厳しく、現状では双方向ができないので改善が必要。学校では今の環境とは別のルートで新たなネット環境を構築させた仕組み作りを検討している。公民館も同様の環境を整えるためには一足飛びでできないこともご理解いただきたい。
- (委員) どのくらいの方が見ているのかなどフィードバックをしっかりと行ってより良いものを作り、周知徹底も図ってほしい。
- (委員) YouTubeでは、対象となっている高齢者は見られないのではないかな。わかる方には便利だと思うが。
- (事務局) ターゲットとしている高齢者には届かないだろうというのは想定済みで、広報紙やチラシ、実際の映像によりPRをしている。また、アクセスするための講座も設けようと考えている。今後も、周知に努めていきたい。
- (委員長) コロナ禍においても、感染防止に配慮しながら、オンライン事業などの様々なチャレンジをしていくべきだと思う。ただし、市民のネット環境は様々であり、オンライン事業だけでは限界があるのではないかな。例えば、高齢者には、コミュニティFMやケーブルテレビ等の活用が有効だと思われる。
- 兵庫県西宮市では、コロナ禍以前から「生涯学習ラジオ講座」に取り組んでいる。兵庫県丹波市では、コロナ禍の中で「TAMBAシニアカレッジラジオ教養講座」を開始した。また、さいたま市の公民館では、「e公民館（おうち公民館）」という名称でネット配信を進めており、こうした先駆的な取り組みを参考にすることも大切ではないかな。

2. 審議事項

(1) 公民館基本方針（案）について

今後10年間の公民館基本方針（案）について、高洲公民館長より説明を行った。

(委員) 青少年事業に対して力を入れていくという話があったが、青少年相談員の事業も見直しが必要と考えている。今後お互いが知っていることを共有し、よりよい事業を展開していきたいと思う。

(事務局) 事業を組み立てるうえで、関係団体の皆様や専門家の方たちのお力をお借りして一緒にやっていくことが必要なのでお願いしたい。

- (委員) 放課後の子どもたちの居場所となるような事業の必要があると思うが、時間的な問題などうまくいかなかった。他の団体と連携していくなど課題をクリアしていけたらと思った。
- (事務局) 課題に対して、ぜひ一緒に考えて行きたい。
- (委員長) 職員と相談員さんとの役割分担や職員の時差勤務による開催時間の改善など課題に対して一緒に考えていくことが大事ではないか。
- (委員) 今までの事業の中で、環境問題に対する取り組みがない。公民館なりの環境に対する考え方の講座があるととっつきやすいと思う。
浦安の文化や歴史を子どもたちに教える講座がないような気がする。
面白いのではないか。また、宇宙に興味を持たせるような講座も考えていただきたい。
- (事務局) 自分たちの地域の文化や歴史を知ることは大事なので考えていきたい。
過去5年間をさかのぼると内容の幅が狭すぎたように思える。
- (委員) 近年は、後期高齢の親を抱える世代が大いに苦労している。
また、親を呼び寄せた後の空き家対策にも苦慮されている。そのような方の心の救いとなるような相談、アドバイスなどがあればいいと思う。
- (事務局) そういう声を聞かないと気付かないことなのでありがたい。現代課題として考えていきたいと思う。
- (委員) 2年ほど前に浦安の漁師さんが浦安言葉やエピソードの話聞く事業があった。元漁師さんも少なくなっていて今が最後のチャンスだと思う。
また、浦安を支えてきた子供たちの生活なども伝えていったほうがいいのではないかと思う。
- (事務局) 博物館と連携してやっていければいいと思う。
- (委員長) 委員の皆様より講座についての具体的な提案があったので、ぜひ受け取っていただき、今後の事業づくりに反映させてほしい。私も、介護や認知症など超高齢社会の課題に応える公民館事業をより積極的に展開していくことが大事だと考える。
- (委員長) 「公民館基本方針(案)」では、地域の状況(人口動態)や公民館事業の成果・課題が分析されている。この方針に則って、根拠に基づいて公民館事業を展開していくことが公民館のさらなる発展につながるのではないか。

7. 研修会

越村委員長より「社会教育の基本概念と公民館の制度」についての研修を行った。

8. 次回定例会議の予定

次回の令和2年度第3回公民館運営審議会は、令和2年9月11日(金)午後3時から、高洲公民館で開催することを確認した。

以上で令和2年度 第2回浦安市公民館運営審議会は閉会した。